

# 誰一人取り残さない 「地域共生社会の実現」に向けて

☎ 社会福祉課 暮らし連携支援室 ☎ (25) 8120



高島市社会福祉協議会キャラクター  
「きらりちゃん」



たかしま見守りネットワークイメージ  
キャラクター「みまもるくん」

コロナ禍で私たちの生活は大きな影響を受けました。自粛生活や人流抑制によって、地域の交流の機会は減少し、身体機能の低下、孤立からくる不安の増加など新たな生活課題が生まれています。また、近年の人口減少や生活スタイルの変容により地域での日常的な見守りや買い物、移動支援など生活面での手助けが必要な世帯も増加しています。市では、このような実情を踏まえて、すべての人々が、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高めあうことができる「地域共生社会」の実現を目指して、さまざまな取り組みを進めています。

「地域のつながりの中で、すべての市民が元気でいきいき暮らすことができる高島市」を目指して、関係機関の協力を得て、平成26年から取り組んでいます。現在、市内71の協力事業者と市が協定を締結し、地域に広がる見守りネットワークを構築しています。協力事業者の皆さんが、地域で何か異変を感じたり、気になることを見つけたりしたときに、連絡を受け、関係機関が連携して対応する仕組みとなっています。

## 企業や事業者と市の連携による取組み 見守りネットワーク事業

### 協力事業者向け説明会・意見交換会を実施しました

#### ▼協力事業者からの声

- 市に連絡することはハードルが高いと感じていたが、説明会で顔の見える関係ができると連絡しやすい。
- 本当に困っている人がSOSを出せているのか、普段の活動の中で気付いていきたい。
- 従業員にも声かけして、周知していきたい。



高島運輸株式会社 社長 萬木 秀哉さん (右)  
桑原 大輔さん (左)

### 地域と社会福祉協議会の協働による取組み 見守りネットワーク活動

見守りネットワーク活動は、安否確認はもちろん、住民同士が互いに気にかけて、支え合う関係性を築いていく「福祉のまちづくり」です。具体的な活動を推進する組織は、各区・自治会に設置された福祉推進委員会です。

#### 福祉推進委員会活動のい・ろ・は

①「い」 さまざまな人とお茶を飲みながら、おしゃべりできる身近な居場所づくりをすすめましょう。

②「ろ」 「見守り」 一人暮らしなど支援が必要になると思われる方の日頃の見守り活動をすすめましょう。

③「は」 「助け合い」 日常生活のちょっとした困りごとを手助けする活動をすすめましょう。

見守りネットワーク活動

### 「見守り会議」で専門職と連携！

見守り会議では、保健師やケアマネジャー、社会福祉協議会職員などの専門職が、住民の皆さんと顔の見える関係づくりを行いながら課題を共有し、活動について一緒に考えています。

現在、高島市203地区のうち、見守り会議を実施している地区は99地区です。このような見守り活動や見守り会議が個人や地域の課題発見につながります。



▶三尾里区(安曇川町)の見守り会議の様子

### さりげない見守りと気遣いに あふれる地域を目指して



見守りネットワーク活動に関するお問い合わせはこちらまで

☎ 高島市社会福祉協議会 地域福祉課  
マキノ・今津 ☎ (27) 1700  
新旭・安曇川 ☎ (25) 5730  
朽木・高島 ☎ (36) 8222

地域で暮らす一人一人の抱える困りごとが複雑化・多様化するとともに、地域での交流やつながりの希薄化が心配されます。「年老いても、病気になるっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい。」このような思いを持った方も多いと思います。だからこそ、お互いがお互いを気にかけてくれる活動、地域づくりが求められます。地域や企業・事業者の皆さんのさりげない見守りや気遣いが、困りごとの早期発見・対応につながります。ご協力をお願いします。

### 見守りネットワーク事業の協力事業者を募集しています！

詳しくは、市のホームページをご覧ください。



### ◆見守りネットワークの流れ◆

